

# 社会人野球注意すべき規則

1. 投手は、投手板に触れて捕手からのサインを受けなければならない。(5.07 a)
2. 投手は、セットポジションをとるに先立って、片方の手を下に下ろして身体の横につけていなければならない。この姿勢から中断することなく、一連の動作でセットポジションをとらなければならない。  
(6.02 a(8)[原注])

## 【規則適用上の解釈】

走者がいるとき、軸足を投手板に触れている投手が、捕手(野手を含む)にサインを出すか、あるいは受けるなど手を動かして肩や胸等に触れる動作をした場合には、本規則に違反するのでボークとなる。又、軸足を投手板からはずして同様な動作をした場合には、遅延行為とみなされ、ボークとなる。(6.02 a(8))

3. 投手が投手板に触れているとき、走者のいる二塁へは、その塁の方向に直接ステップすれば偽投してもよいが、一塁または三塁と打者への偽投は許されない。(6.02 a(8)[注])

## 【規則適用上の解釈】

投手板に触れている投手が、投げる方の手にボールを持たないで塁に送球する真似だけして、実際に送球しなかった(偽投)場合には、遅延行為とみなされボークとなる。(6.02 a(8))

- ~~4. 投手は、打者への投球に関連する動作を起こしたならば、途中で止めたり、変更したりしないで、その投球を完了しなければならない。(5.07a(1)①、a(2)②)~~

## ~~【規則適用上の解釈】~~

~~投手は、スムーズな一連の動作で打者への投球を完了しなければならない。投球動作中に、タメを作ると称して一瞬でもその動作を一時停止させたり、ことさら段階をつけるモーションをしたり、体の中心軸を静止させておき、部分(腕、脚、足など)だけをぶらぶらさせた後に投球することは許されない。投手に少しでもこのような動作が見られた場合は、審判員は6.02 b 項を厳格に適用しなければならない。~~

5. 捕手はボールを持たないで、得点しようとしている走者の進路をふさぐ権利はない。  
塁線(ベースライン)は走者の走路であるから、捕手は、まさに送球を捕ろうとしているか、送球が直接捕手に向かってきており、しかも充分近くにきていて、捕手がこれを受け止めるにふさわしい位置をしめなければならなくなったときか、すでにボールを持っているときだけしか、塁線上に位置することができない。この規定に違反したとみなされる捕手に対しては、審判員は必ずオブストラクションを宣告しなければならない。(6.01 h[付記]、アマ内規⑩ 3)